

五箇伝 ―名刀の源流―

展示作品目録

令和四年九月二十一日(水)～十二月十八日(日)

【 刀 剣 】

	音声 ガイド	指定	種別	銘別	名称	刃長(cm)	反り(cm)	時代	国	備考(伝来等)
1	🎧	特別重要刀剣	太刀	銘	備前国末行	七二・四	一・六	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	
2		重要刀剣	太刀	銘	助近造	六九・九五	二・六	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	
3	🎧	重要美術品	太刀	銘	利恒	七〇・五	二・〇	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	
4		重要刀剣	脇指	無銘	一文字	四八・四	〇・八	鎌倉時代中期	備前国	長刀直し
5		重要刀剣	太刀	銘	守家造	七一・八	三・二	鎌倉時代中期	備前国	
6		重要刀剣	太刀	銘	備前国長船住左近将監長光造 永仁五年三月日	七七・八	三・〇	鎌倉時代後期 永仁五年(一二九七年)	備前国	
7		重要刀剣	剣	無銘	千手院	二〇・二	無し	鎌倉時代	大和国	
8	🎧	重要美術品	太刀	銘	大和則長	七〇・〇	二・五	鎌倉時代後期	大和国	徳川將軍家伝来
9	🎧	重要美術品	脇指	銘	大和(以下折返し)尻懸住則長	五一・五	一・〇五	鎌倉時代後期	大和国	長刀直し 紀州徳川家伝来
10		重要刀剣	刀	無銘	手搔包永	六九・一	一・一	鎌倉時代後期	大和国	
11	🎧	特別重要刀剣	太刀	銘	定利	七〇・一	一・八	鎌倉時代前期 中期	山城国	
12		重要刀剣	刀	折返し銘	来国俊	七〇・〇	二・一	鎌倉時代後期	山城国	
13	🎧	特別重要刀剣	太刀	銘	了戒 号 武蔵了戒	八五・四	二・四	鎌倉時代後期	山城国	伝宮本武蔵所持
14	🎧	重要美術品	太刀	銘	来国末	七二・七二	一・九	鎌倉時代後期	山城国	庄内藩酒井家伝来
15		重要刀剣	太刀	銘	国宗	七四・〇	二・四	鎌倉時代末期	備前国	
16	🎧	重要文化財	脇指	無銘	伝 正宗	三〇・八	〇・二	鎌倉時代末期 南北朝時代	相模国	
17		重要刀剣	刀	無銘	伝 来国次	七三・〇	二・〇	南北朝時代	山城国	
18	🎧	特別重要刀剣	刀	金象嵌銘	長谷部国重	七二・一	一・三	南北朝時代中期	山城国	徳川將軍家伝来

19		重要刀剣	脇指	銘	長谷部国信	三三・五	〇・三	南北朝時代中期	山城国	尾張徳川家より献上 将軍家伝来
20		重要刀剣	刀	金象嵌銘	兼長	六三・九五	一・四	南北朝時代	備前国	薩摩藩島津家伝来
21		特別重要刀剣	脇指	銘	備州長船倫光	三〇・八	〇・二	南北朝時代 貞治二年(一一三三年)	備前国	
22		特別重要刀剣	刀	銘	備州長船住盛景	六三・二	一・四	南北朝時代 永和元年(一一三五年)	備前国	
23		重要刀剣	短刀	無銘	金重	二九・三	〇・三	南北朝時代	美濃国	
24			刀	銘	兼(以下切れ)	六五・五	一・八	室町時代後期	美濃国	
25			脇指	額銘	兼元	四五・三	〇・六	室町時代後期	美濃国	
26			短刀	銘	濃州関住兼定	二四・一	内反り	室町時代後期 永正六年(一一五〇九年)	美濃国	
27			刀	銘	兼常 (金象嵌銘)朝露	六九・二	一・九	室町時代後期	美濃国	

【刀装・刀装具】

	音声 ガイド	指定	種別	名称		音声 ガイド	指定	種別	備考(伝来)
		重要刀装具	鐺	桐文散鐺	無銘		重要小道具	鐺	七宝紋鐺 無銘 平田道仁
		重要小道具	鐺	格子形花文散桐文繫鐺	無銘		重要刀装具	三所物	雲竜図三所物 無銘 後藤顕乗
		重要小道具	鐺	虫喰図鐺	無銘		重要小道具	拵	黒小刻鞘脇指拵(金具 荒木東明)
		重要小道具	鐺	沢潟文鐺	銘		信家		
		重要小道具	鐺	三階松透鐺	無銘		又七		
		重要小道具	鐺	菊花・菊葉透鐺	無銘		勘四郎		